



# 令和元年度 第2回全体会（令和元年12月16日開催）

資料1

## 第2回全体会での委員からのご意見・質問と区の考え方

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
1	甲斐田委員	<p>【西成区の活性化】</p> <p>西成区は子どものこと、また地域のいろんな活性化に非常に力を注いでいただいている区だなというのは、実感している。</p> <p>ただ、若い世代が非常に少ない。幼稚園の数も少ない。もっと夫婦で働ける環境づくりに力を入れていくべきではないか。これほど便利な地域は大阪の中でもないのではないかと思う。その辺りに目線を置きながら、西成を活性化するのが非常に大事でないかを感じる。</p>	<p>現在、西成特区構想が第2期（平成30年度から令和4年度までの5年間）で、この2期の目標としては、子育て環境の充実、地の利を生かした来訪者の増加というのを目標に掲げて、取り組みを進めている。</p> <p>当初の西成特区構想の目標であった、子育て世代を呼び込むところが一番の大きな課題で、さまざまな取り組みを進めている。委員の皆様にもいろいろ貴重なご意見をいただけたらと考えてる。</p>	<p><input type="checkbox"/>元年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/>2年度に対応（予定）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/>対応困難または不可</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>
2	山本委員	<p>【障がいがある子どもや親への孤立防止支援事業】</p> <p>・精神的な症状は多岐にわたり把握が難しいと思う。その中で、かかわりを持たないようにしている家庭を関係機関につなぐところの、まず発見という段階をどのように取り組んでいけるのか。</p> <p>・精神障がい者手帳を持たれている約5,000人というのは、大人も含むと思うが、その中でも子どもを対象にしているという認識でいいのか。</p>	<p>・現在、西成区で精神障がい者手帳・療育手帳を取得している方が約5,000人で、その内、既に区とつながっている方が約500人、何らかの福祉サービスを受けている方が約3,000人（想定）。残る約1,500人というのが把握し切れていない、何らかのサービスにつながっていない方ということで一旦整理をしている。その1,500人を3年かけて、1年500人ずつ家庭訪問などで聞き取り調査おこない、何もつながっていないということであれば、ご相談いただきたいということの説明をしていきたいと考えている。</p> <p>また、令和2年度から子どもサポートネット事業というのを24区で始める。そこで学校の中でしんどいお子さんを把握したり、何か課題があって支援が必要となった場合については、区役所と連携し、福祉の施策につなげていきたいと考えている。</p> <p>・子どもだけではなく、親御さんの状態が悪くて子どもに手が回らないということもあるので、そういうところも含めて、各世帯でどのような支援が必要かということを探していきたい。</p>	<p><input type="checkbox"/>元年度に対応</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>2年度に対応（予定）</p> <p><input type="checkbox"/>引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/>対応困難または不可</p> <p><input type="checkbox"/>その他</p>

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
3	孫委員	【障がいがある子どもや親への孤立防止支援事業】 この障がいがある子どもの定義の中に、発達障がいの子どもは含まれているのか。発達障がいの誤った認識が、発達障がいのある子どもを持つ親の孤立を促進させると思うので、含まれていないのであれば、ぜひ含めてほしい。	障がいの状況で区別するものではないので、対象となっている。 また、発達障がいに関しては、西成区の子育て支援に家庭児童相談員という職員が2名いて、ご相談いただけたら、保護者に対しても本人に対しても必要な支援を行っている。	<input type="checkbox"/> 元年度に対応 <input checked="" type="checkbox"/> 2年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
4		【広報紙の子育て特集】 毎年広報紙に掲載されている子育て特集の中に障がいを持つ子どもの支援の情報が入っていないので、掲載をお願いしているが、どのような状況なのか。	来年度7月号の子育て特集では、ページを増やして掲載を予定している。	<input type="checkbox"/> 元年度に対応 <input checked="" type="checkbox"/> 2年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
5	村木委員	【運営方針】 区の目標、何を指すかというところで、ここに書かれているのは非常に総花的なことであって、何を一体したいのかというのが明確にされていない。一言聞いて今年の西成区は何を重点的にやるのかがわかるような目標の立て方、表現をしていただきたい。	運営方針の見せ方、表現の仕方については、工夫を図れるものについて工夫してまいりたい。	<input type="checkbox"/> 元年度に対応 <input type="checkbox"/> 2年度に対応（予定） <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
6	西前委員	【防犯・安全対策】 運営方針の経営課題3「防災・防犯・安全対策」の中に再犯防止の項目が入っていないので、ぜひ入れていただきたい。	再犯防止対策の啓発については、更生保護の活動の一環として保護司会をはじめとする地域の方々と一緒に協力して取り組んでまいりたい。	<input type="checkbox"/> 元年度に対応 <input type="checkbox"/> 2年度に対応（予定） <input checked="" type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他
7	高岩委員	【情報の届け方】 子育てに関する施設のスタッフなどは、学習会などさまざまな催しを企画して、すべての家庭に情報が届くように、チラシやいろいろな情報発信をしているが、どうしても孤立しておられる家庭に情報が行き届かないことがある。そこで、広報紙「にしなり我が町」を、希望者や新聞購読者だけでなく、すべての子育て家庭に届けていただきたい。その中には外国ルーツの方もおり、紙の媒体だけでは内容が理解できないということもあるが、いろいろな方向から孤立された家庭ということをなくしていきたい。 「障がいがある子どもや親への孤立防止支援事業」に携わっていただく家庭児童相談員さんが、対象の1,500人を3年で割って訪問等を行うということだが、できるだけ早く、多くの家庭に、いろいろな思いや寄り添う人、いろいろなものが届くよう、私たち民間の人間も、ぜひご協力させていただきたい。	広報紙については、紙媒体の購読というのが少なくなってきたおり、若い子育て世帯を中心に、スマートフォンやタブレットの利用率が高くなっていることを踏まえて、「マチイロ」という無料アプリで広報紙をご覧いただける。このアプリは西成区以外や、大阪市以外の地方公共団体が出している広報紙も見られるので、ぜひご活用いただきたい。 子育ての部分に関しては、広報紙とは別に「ハギッズ」という新聞もあり、各関係機関に置いていただいたりして配付している。そこには、民間の方の活動状況などを掲載しているので、ご活用いただければと思う。また、発信方法については、若い世代にも効果的に情報を届けられるよう、SNSでの発信も検討している。	<input checked="" type="checkbox"/> 元年度に対応 <input type="checkbox"/> 2年度に対応（予定） <input type="checkbox"/> 引き続き検討 <input type="checkbox"/> 対応困難または不可 <input type="checkbox"/> その他

番号	委員	意見・質問等	区の考え方	対応状況
8	中井委員	<p>【こどもカーニバル】</p> <p>津守地域活動協議会で津守子どもカーニバルというのを毎年開催しており、今では地域外の人も含めて1,000人ぐらいの参加者がいる。津守地域の子どもは50人ほどで、実態は西成区全体のカーニバルなので、西成区で実施してほしい。</p> <p>津守地域の住民にはすごく負担で、カーニバルの開催に反対する者も増えてきており、来年は開催できるかもわからない状態になっている。</p>	<p>こどもカーニバルについては、地域活動協議会の補助事業として実施されており、当該事業も含めて、地域特性に応じた多様な活動を地域の皆様の話し合いのもと、行っていただいている。事業の実施の有無や、事業規模をどのように設定するといったことについても地域の代表者が参加いただく地域活動協議会運営委員会において決められるものとしていることから、その場での活発なご議論をいただきたいと考えている。</p>	<p><input type="checkbox"/>元年度に対応</p> <p><input type="checkbox"/>2年度に対応（予定）</p> <p><input type="checkbox"/>引き続き検討</p> <p><input type="checkbox"/>対応困難または不可</p> <p>■その他</p>
9	若林委員	<p>【こどもカーニバル】</p> <p>今年初めて子どもカーニバルを手伝いに行かせていただいた。子どもたちが笑顔で、すごくいいことだと思う。もちろん続けていってほしいので、何とか続けていただきたい。</p>		
10	山本委員	<p>【こどもカーニバル】</p> <p>私は梅南津守小学校のPTA会長もしていたので、今の津守の問題に関しては、耳に入ってきている。今回の津守カーニバルの件に関しても、津守地域の方が本当にご尽力されている。未就学の子どもから、小学生、中学生も含めて親御さんと一緒に区内からさまざまな方が参加しており、地元地域だけでは開催は難しくなってきた。今回は、地域以外から青少年指導員も含めてたくさんの団体の方が協力してくれている。</p>		
11	田中委員	<p>【こどもカーニバル】</p> <p>この件については、地域活動協議会で議題になり、意見も出ている。輪番制というか、例えば、次は今宮地域でやっていただくのであれば、今宮の地域活動協議会に予算をおろして、やっってはどうかという意見もいただいている。</p> <p>また、地域活動協議会と相談していきたい。</p>		